

## SDGsへの取組について

### 1 SDGsとは

持続可能な開発目標の略称。平成27年9月の国連サミットで採択された令和12年を期限とする国際目標で、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されています。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題解決に統合的に取り組むものであり、持続可能なまちづくりや地域活性化に向け、SDGsの理念に沿った取組の推進を図ります。

本市においても最上位計画である厚木市総合計画や第2期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、重要な視点として位置付け、取り組むこととしています。

#### 【参考】持続可能な開発目標（SDGs）の詳細



### 2 市の取組について

#### (1) 地域防災力強化事業

指定避難所及び市内全域の被災者を支援するための救援物資の集積拠点である荻野運動公園に、電気自動車の蓄電池の再利用を図った非常用電源設備を整備し、停電時における電力を確保することにより、指定避難所としての機能強化・充実を図り、大規模災害時の防災対策を推進します。

→ 目標11「住み続けられるまちづくりを」

目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

## (2) 商業活動振興事業

子育てパスポート事業において「AYUCOカード」を電子化することにより、利便性を高め、子育てを応援しているサポーター店舗の利用を促進し、商業活性化を図ります。

- 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

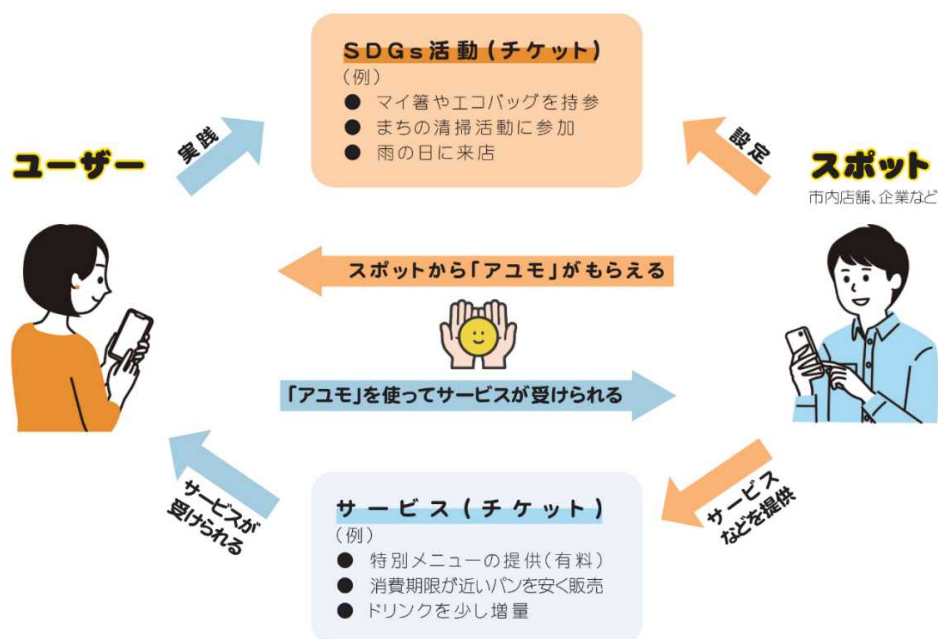
## (3) ごみ減量化・資源化推進事業

ごみの減量や適正な分別について、周知・啓発活動を実施するとともに、もえるごみの戸別収集の拡大により更なる減量化・資源化を推進します。

- 目標12「つくる責任 つかう責任」

## (4) まちのコイン「アユモ」

楽しみながらSDGsを知り、実践できるスマートフォンアプリ「まちのコイン」を通じ、市民の皆様が地域におけるつながりを深め、SDGsの取組を「自分ごと化」していただけるよう、利用者や登録スポットの増加を図り、SDGsの理念や目標達成を推進しております。



### 【参考】現状及び第10次総合計画実施計画・事業指標

	11月9日時点	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録ユーザー数(人)	1,524	1,500	2,000	2,500
登録スポット数(か所)	53	50	60	70
ユーザーアンケートで「SDGsがよく理解できた」と答えた人の割合	—	80	85	90

### 3 市が実施する小・中学校における取組について

今年度の「総合的な学習の時間」における課題探求学習のテーマをSDGsとした厚木中学校から依頼を受け、全校生徒を対象にSDGsの概要や理念をはじめ、ごみの減量・分別や節電など、中学生が生活の中でSDGsの取組として実践できるものを紹介するなど、「自分ごと」として考える大切さを知ってもらう内容として実施しております。

生徒からは、「SDGsのそれぞれの目標を詳しく聞くことができてよかった」「今の自分たちの行動が未来のまちにつながるなら、できること頑張ろうと思った」などの感想をいただきました。今後につきましても、SDGsの達成には未来を担う子どもたちへの普及・啓発が欠かせないものであることから、市内各小中学校への展開などを推進します。

#### 【厚木中学校での講義概要】

- ・対象 全校生徒（4月時点で823人。講義は1学年ずつ開催。）
- ・講師 企画政策課 SDGs担当職員
- ・講義内容

(1) タイトル「SDGs 未来のために、今できることを」

(2) 内容

パワーポイントや動画を利用し、SDGsが作られた経緯、理念、17の目標など、SDGsの基礎的な内容のほか、誰が取り組むものか、中学生でも可能な取組は何かなど、SDGsを自分ごととして捉え、取り組んでもらえるような内容とした。

また、本市のまちづくりとSDGsの関係性やまちのコイン「アユモ」の周知など、本市の取組を紹介した。

#### 4 教育委員会の取組について

SDGsを視野に入れたESDの取組については、新学習指導要領において「持続可能な社会の創り手の育成」について示されており、そのための教育いわゆるESDを推進することの重要性がより一層高まっていると考えております。

教育委員会といたしましては、各学校がESDを体系的に推進するよう、特色や地域の実状を踏まえ、教育課程の中に位置付けていくことが適切であると考えており、各学校の教育目標や重点項目とSDGsを関連付けて教育課程を編成することを提案しております。また、各学校におきましては、学習指導要領に基づき、各教科の中で環境教育について指導しております。

本市といたしましても、エコスクールの支援する事業を進めており、現在、小学校3校が「エコスクール」として活動し、その他の学校でも地域と連携した環境・防災に関する取組や、児童・生徒を中心とした河川の環境整備、グリーンカーテンの設置、落葉を堆肥にして花壇や学校菜園で活用する資源化等を行っております。

##### 【各小・中学校の取組】

No.	取組内容（実施校） 開発目標（教育振興基本計画及び市総合計画基本施策における位置付け）
1	地域における防災訓練への参加（依知中、睦合東中、相川中） 目標4 目標11 目標13 目標17
2	総合的な学習の時間における取組（緑ヶ丘小、荻野中） 目標1 目標2 目標4 目標11 目標17
3	各教科等における取組（相川小：理科・総合、睦合東中：社会） 目標1 目標2 目標4 目標11 目標17
4	道路の花壇整備活動（厚木中、林中、相川中） 目標4 目標9 目標11 目標12
5	エコスクール活動（相川小、戸田小、相川中） 目標4 目標7 目標8 目標11 目標12 目標13
6	グリーンカーテンの設置（清水小、戸室小） 目標4 目標7 目標8 目標11 目標12 目標13
7	資源化に対する取組（清水小、相川小、愛甲小） 目標4 目標7 目標8 目標11 目標12 目標14 目標17
8	年末清掃への参加（厚木中、依知中、睦合東中） 目標4 目標11 目標15 目標17
9	河川の環境整備に対する取組（東名中） 目標4 目標6 目標11 目標14 目標15
10	地域との連携活動 ・ぼうけんのもりの整備（上荻野小） ・学校林再生プロジェクト（森の里小） 目標4 目標11 目標13 目標15 目標17